

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	瑞浪市	学校名	瑞浪市立陶小学校			
校長名	加納 素介	対象学年	全学年	人数	109	人
活動名	地域を愛し、地域に愛されるふるさと教育		時間数	各学年 10 時間	継続年数	2 年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [学校付近の森林・植物：木育] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [陶器の歴史、中馬街道] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [各地区の祭り] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [陶磁器産業、与左衛門窯] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [仕事調べ、買い物体験、全校陶磁器作品づくり、工場見学、「すごいぞ！陶！」全校集会] ⑥ その他 [金銭教育のねらいを踏まえた地域題材：全学年粘土題材]					
複数年継続するための工夫改善	・学校のねらいを明確にし、保護者や地域との活動を改善する。保護者や地域と共通理解の上で協力を得ることで、地域の教育力を引き出す。 ・ねらい→活動→成果を積極的に情報発信し、保護者や地域と共に児童の自己有用感やふるさと陶を愛する心を育てる。					
<p>1 ねらい ふるさと陶の文化、産業、人々の営みや自然等、ふるさと陶のよさを知り、学び、愛着をもち、自ら積極的に関わることができる子を育成し、地域に愛される子をめざす。</p> <p>2 活動の概要 (1) 児童の実践力を高めるための地域人材や地域題材開発。(資料1) (2) 陶や陶器の歴史、文化、産業を学ぶ、陶芸作家、与左衛門窯の方の効果的な活用。(資料2) (3) 児童の自己有用感や感謝や自立の心を育てる、買い物体験・仕事調べ。(資料3) (4) 「ものづくり」「願いを形にする」地域題材：粘土制作。(資料4) (5) 金銭教育協議会にて、地域や保護者への発信(資料5・6) (6) 新校舎移転「ありがとう陶小学校校舎」</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子 【全校集会】「すごいぞ！陶！」と題して地域の話聞くことを通して、陶のよさを知る。地域を学ぶことを通して地域に愛着をもたせる。 【中馬街道】地域講師から歴史を学び、街道に看板を設置する手伝いをしている。 【陶コミュニティー】第2学年町探検、第3学年校区探検、第6学年行政と、それぞれの学習のねらいを明確にして体験学習をする。 【陶町行事、各地域行事】3地域（大川、水上、猿爪）のお囃子練習、祭り、ふれあい広場（風船に陶の自慢を書く、陶町絆マラソン）参加等。</p> <p>4 活動を通しての児童生徒の変容 ○陶町や陶磁器産業を学ぶ中で、自分の故郷、陶に対して誇りと愛着を深める児童が増えた。 ・積極的に地域行事に参加し、地域の中で活躍。（街づくり推進協議会 創立30周年記念式典の児童合唱に第5, 6学年が参加、各地区祭りのお囃子に多数参加 等） ・地域の山で採れる粘土を父と掘りに行き「置物」を作って母の日にプレゼントするなど、地域のよさを生かした活動がみられるようになった。 ○買い物の時に「おやつ200円まで買うよ。選んでね。」など、家族の会話や体験が広がった。 ○「笑顔あふれる陶町に」という題で、「陶をいいと思ってもらえるよう、私もお囃子を頑張り、地域の行事に積極的に参加したいです。挨拶をして笑顔あふれる陶町にしたいです。」と瑞浪市の主張大会にて、堂々と発表するなど、ふるさと陶を大切に思う思いを児童に育てることができた。 ○「人・もの・お金」の価値を知り、自分を支える家族や地域や人に対して感謝する気持ちが強くなった。委員会や係の仕事に対してやりがいや主体的に働く姿がみられるようになってきた。</p>						



